

2012年5月19日に、長い苦痛後、われわれの学校を確立したオクマ・ノブコ様はなくなりました。われわれの素敵な学校を確立した、偉大な人がなくなりました。われわれの初めての出会いは1989年に行いました。とても特別な出会いで、一生の友好になりました。私は日本文化と伝統的な日本子供のおもちゃ、歌や習慣などを保つために努力する日本人と始めて会いました。

この人々はコダイー・ゾルターン様の活動を基にして努力しました。オクマ・ノブコ様は、ご主人のオクマ・ツネオ様と東京の町田コダイー・ミュージック・スクールを確立しました。この学校では、現在でも非常に素晴らしい音楽教育が行っています。華々しい町田コダイー合唱は、偉大な作曲家と音楽教師の寡婦にコダイーと言う名前を取ることを勧められました。

1980年代に、特にハンガリーの幼稚園教育を研究するために、たくさんの日本グループがハンガリーにきました。

1990年代に、オクマ・ノブコ様はたくさんの日本グループをケストヘー市のエーレトフアと言う幼稚園に持って来ました。皆は幼稚園の教育活動を研究しました。特に個人中心的な教育方法、幼稚園の自由で砕けた生活様式、複合の活動、色々な教育方法、様々な年齢の子供の共同生活と協力、伝統の保つこと、民間説話の世界、唱歌遊びなどに興味を持っていました。奥間様はこの教育方法の成功を信じて、幼稚園教師に講座をするために私を日本に招待しました。

われわれはこの方法を学校でも続けようと言う夢がありました。アイデアと決心が生まれました：この努力の続きとして幼稚園と協力して、学校を確立すること。この後行ったのはまるで世界一の奇跡だと思います。

ノブコ様は日本では、特にエーレトフア幼稚園に観光したことがある日本人の教師達の間で大規模な募金することを始めました。皆は助力しました。ノブコ様の小さい学生達も学校を建てるために自らの小遣い銭で募金したということに非常に感動させられました。学校は1996年から2001年まで幼稚園のアティクで建てられたが、1997年に既に営業し始めました。地方自治体の幼稚園と最新の財団学校は、適切な状況のおかげで、同一の建物で営業できました。

両方の施設が部分的に統一されると言う夢は結局叶いませんでしたが、数年間やはり良く営業できました。ついに、元々の決意を良く実験できる学校が確立されました。

ノブコ様はハンガリーのことがとても好きでした。ノブコ様は常にハンガリーが第二目の故郷だと思っており、ハンガリー語も完璧に出来ました。ノブコ様は独習者としてハンガリー語を勉強しました。ノブコ様はハンガリーの民謡に基づいてハンガリー語を学んだと言いました。しかも、ガールドニ・ゲーザの小説もハンガリー語で読み、ハンガリーの慣用句も、その意味も分かりました。特に小運鳥が好きでした。

数年前に、ノブコ様はコダイー・ゾルターンの音楽教育方法を続けると普及させる人としてコダイー賞を授与されました。ノブコ様はコダイー方法を合唱でも、音楽学校でも非常に良く実現しましたので、これはハンガリー人にも標本のようなことはずだと思います。

ノブコ様は素晴らしい人で、皆に好まれ、尊敬されました。また、彼女は精力的で、楽天的で、ユーモアのある人でした。

この前、ノブコ様はモーリス・メテルリンクの言葉を引用しました：

「われわれはお互いが好きなら、青鳥が常にわれわれのそばにいます。青鳥は幸せで、その鳥かごは人間の心です。」

ノブコ様は私の本当の友達でした。

愛情と友好は永遠なくならないと思います。

ノブコ様、さようなら。

将来はまたあいましょう。

われわれは幼稚園と学校では信子様のことを忘れません。ノブコ様のご冥福を祈ります。

モーロツネー・コマーロミ・ジョンジ

翻訳: ホルワート・アリーズ